

習志野市教育委員会会議録 (平成21年第12回定例会)

- 1 期 日 平成21年12月24日(木)
習志野市教育委員会事務局大会議室
開会時刻 午後3時00分
閉会時刻 午後3時55分
- 2 出席委員
- | | | |
|------|---------|--|
| 委員 長 | 青 木 克 己 | |
| 委 員 | 鈴 木 大 地 | |
| 委 員 | 澤 村 洋 子 | |
| 委 員 | 星 野 龍 人 | |
| 委 員 | 植 松 榮 人 | |
- 3 出席職員
- | | | |
|----------------|-------------|--|
| 教育総務部長 | 柴 崎 一 雄 | |
| 学校教育部長 | 若 崎 光 美 | |
| 生涯学習部長 | 加 藤 清 一 | |
| 教育総務部参事 | 秋 田 博 義 | |
| 学校教育部参事 | 鶴 岡 智 信 | |
| 学校教育部参事 | 諏 訪 晴 誠 | |
| 学校教育部参事 | 木 原 正 治 | |
| 生涯学習部参事 | 山 田 俊 介 | |
| 学校教育部次長 | 押 田 登 美 雄 | |
| 生涯学習部次長 | 早 瀬 博 | |
| 教育総務部・学校教育部副技監 | 勝 見 隆 夫 | |
| 学校教育部副参事 | 井 上 茂 | |
| 学校教育部副参事 | 小 柳 善 博 | |
| 生涯学習部副参事 | 鈴 木 清 | |
| 生涯学習部副参事 | 黒 崎 元 行 夫 | |
| 企画管理課長 | 井 澤 和 昌 幸 之 | |
| 施設課長 | 飯 塚 昌 幸 之 | |
| 社会教育課長 | 星 寄 主 義 之 | |
| 青少年課長 | 寄 主 義 之 | |
| 教育総務部主幹 | 牧 野 岳 彦 | |
| 教育総務部主幹 | 宮 崎 雅 博 | |
| 教育総務部主幹 | 佐々木 重 春 | |
| 学校教育部主幹 | 江 川 陽 史 | |
| 学校教育部主幹 | 鈴 木 博 | |
| 学校教育部主幹 | 生 駒 敏 子 | |
| 学校教育部主幹 | 土 屋 美 惠 子 | |
| 学校教育部主幹 | 村 山 美 代 子 | |
| 生涯学習部主幹 | 及 川 隆 志 | |
| 生涯学習部主幹 | 飯 島 稔 紀 | |
| 生涯学習部主幹 | 浅野目 俊 紀 | |

4 会議内容

委員長が

平成21年習志野市教育委員会第12回定例会の開会を宣言

委員長が

会議規則第15条の規定により、議案第37号を非公開とすることについて諮り、全員異議なく非公開と決定された。

委員長が

議案第37号の会議録については、市長から議会への提案後に公開とすることについて諮り、全員異議なく決定された。

委員長が

本日の日程について、議案第37号を協議事項の後に審議することについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

委員長が

平成21年第11回定例会の会議録について承認を求め、全員異議なく承認された。

報告事項(1) インフルエンザによる習志野市立幼稚園、小・中学校及び放課後児童会の臨時休業等の実施状況について

(学校教育課、青少年課)

学校教育部主幹が

幼稚園における幼児のインフルエンザ発症による臨時休業等実施状況について、袖ヶ浦西幼稚園、つくし幼稚園の2園で2学級の閉鎖を決定した。前月までと比較すると終息傾向にある、と概要を報告

学校教育部次長が

小中学校における臨時休業等の実施状況についても、終息傾向にあり、先週は小学校3校で学級閉鎖が5学級、今週まで継続したものが、小学校1校で学級閉鎖が1学級である。現在の罹患者数は、小学校で3千820人、中学校で1千317人である、と概要を報告

青少年課長が

放課後児童会では、学級閉鎖及び学年閉鎖となった児童の放課後児童会への登室を停止している。12月には9児童会にて児童の登室を停止した、と概要を報告

委員が

学級閉鎖等に対する基準について、もう少し柔軟に対応出来ないのか、と質問

学校教育部次長が

県教育委員会からは、基準の緩和に対する連絡は来ていないが、今後の罹患状況を踏ま

えて検討していきたい、と回答

委員長が他に質疑なしと認め、報告事項（１）は了承された。

議案第 38 号 平成 21 年度習志野市教育委員会顕彰規程に基づく表彰について
(企画管理課)

企画管理課長が

平成 21 年度習志野市教育委員会顕彰規程に基づく表彰については、平成 21 年習志野市教育委員会第 11 回定例会にて議決をいただいたが、その後、平成 21 年度全国学校合奏コンクール全国大会において、習志野市立谷津小学校管弦楽クラブが最優秀賞を、習志野市立第一中学校管弦楽部が優良賞を受賞したことに伴い、習志野市教育委員会顕彰規程第 6 条第 1 項の規定に基づき、平成 21 年度表彰状授与候補者として追加しようとするものである、と概要を説明

委員が

谷津小学校は 7 年連続受賞になるのか、と質問

企画管理課長が

その通り 7 年連続 17 度目の最優秀賞である、と回答

委員長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第 38 号は全員賛成で原案どおり可決された。

協議第 1 号 次回教育委員会の期日について協議し、平成 22 年 1 月 27 日（水）午後 3 時に決定された。

< 議案第 37 号は非公開 >

議案第 37 号 平成 22 年度教育費当初予算案について
(企画管理課)

企画管理課長が

平成 22 年度教育費当初予算案は、11 月 2 日付けで示された市長による予算編成方針を受け、教育委員会各部が予算編成作業にあたり、本日議決をいただいて、平成 22 年度教育費当初予算案として市長に申し入れを行うものである。

平成 22 年度の教育費に係る歳入予算要求額は、地方債等を除き、16 億 7 千 2 百 6 千 1 百 5 千円で、前年度予算額 16 億 7 千 6 百 3 千 2 百 5 千円に対して、3 億 7 千 1 万円の減、率にして 0.2% 減となっている。また歳出予算要求額は、職員給与費などを除き、4 億 8 千 9 百 3 千 8 百 1 万円、前年度予算額 4 億 9 千 8 百 3 千 4 百 1 千円に対して、1 億 4 千 5 百 3 万 1 千円の減、

率にして2.1%の減となっている、と概要を説明

委員が

来年度行われる国民体育大会にかかる予算要求は何処の部署で行っているのか、と質問

企画管理課長が

総務部の国体推進室である、と回答

委員が

アスベストが残っている学校等は、まだあるのか、と質問

施設課長が

屋敷小学校と谷津小学校に残っているが、平成22年度と23年度で予算措置して除去工事を行う予定である、と回答

委員が

校外活動事業で小学校4年生から中学校1年生が行う年1回の校外学習バスの公費負担を廃止することであるが、それによる保護者の負担はどの程度なのか。また、周知は出来ているのか、と質問

学校教育部次長が

学校によって行き先や児童数等が異なるので、一概にいくらとは言えないが、委託に掛かるバス一台が6万円から8万円であるため、それを人数割りすると、一人1,500円前後から3,000円前後である。また、周知については、先月の校園長会議で説明を行ったため、年末、年始のPTA会議で学校長から説明をする予定である。加えて、教育委員会からもPTA連絡協議会で説明を行うつもりである、と回答

委員が

校外学習バス等の公費負担廃止の理由は、と質問

学校教育部次長が

校外学習バスについては、小学校の1年生から3年生までは既に保護者負担としていること、近隣他市では従前から保護者負担としている状況や昨今の経済情勢を勘案した。また、学校によってバス代等の負担額が異なるため、公平性の観点から廃止を決定した、と回答

委員が

芝園公園スポーツ施設整備事業で整備される公園は、テニスコートやフットサル場などがあるが、どの程度の規模になるのか、と質問

生涯学習部副参事が

テニスコートは4面、フットサル場は3面である。それから、管理棟と更衣室等を整備する予定である、と回答

委員が

小学校教育指導事業で、学習指導要領の改訂に基づき教師に配布する指導書は、どれくらいの冊数を予定しているのか、と質問

学校教育部副参事が

指導書は各学年の学級数によって異なってくる。3学級までが1冊で、4学級以上が2冊である。中学校については平成23年度に予算措置をするため、来年予算編成作業を行う予定である、と回答

委員が

中学校は教科担任制だから、担任者分指導書がいるのか、と質問

学校教育部副参事が

その通り担任者分必要である、と回答

委員が

高価なものなので有効に使用してほしい、と要望

委員長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第37号は全員賛成で原案どおり可決された。

委員長が

平成21年習志野市教育委員会第12回定例会の閉会を宣言